

株式会社 LIXILグループ

# 株 主 通 信

2018年3月期ご報告

2017年4月1日～2018年3月31日



## 目次

取締役会議長ごあいさつ …… 02	株主メモ・お問い合わせ先 …… 15
社長メッセージ …………… 03	アンケート …………… 16
LIXILの約束 …………… 07	株式の状況 …………… 17
営業報告 …………… 13	会社概要 …………… 18
セグメント情報 …………… 14	株主優待のお知らせ …… 裏表紙

# LINK TO GOOD LIVING



【写真】表紙：調湿、ニオイ吸着、VOC吸着の3つの働きをもつ壁材 INAX「エコカラット」／P01：枠にはまらない開放感の窓 TOSTEM「LW」

## ごあいさつ



取締役会議長

潮田洋一郎

ガバナンスと経営は、グループの価値を高めていく両輪であります。ガバナンスを司る取締役会は、経験豊富な5人の社外取締役と非執行役を中心とする取締役が客観的に経営を監督し、長期的な観点で当グループの将来を論じ、社長と意見交換につとめています。6月に新たに取締役を2人追加し、取締役会での論議に現場感覚を一層反映させ、同時に3つの委員会の強化も図ります。

日本から中国そしてインドに至る地域は世界の人口の約60%を擁し、インフラ整備や建築で大きな需要が発生します。当社にとって長期的には最も重要な地域です。中国だけでも今や日本のGDPの2.5倍の経済に拡大しました。アジアの発展に遅れない事業展開を経営に促しています。

一方、諸外国の保護主義的な動きやオープンな社会への逆風の傾向は、憂慮すべき問題です。自由貿易の障壁が増すならば、各国の実情に合わせたきめ細かなサプライチェーンを作る必要に迫られます。その中で当社は、人種、性別、国籍

を問わず多様な人材を登用し、異なる意見を反映させます。

多国籍事業をスピードアップする過程で拡散気味になされた投資は、現経営陣によって収益重視の観点から一部整理がなされました。売上成長は一旦鈍化したものの、収益性は高まりました。一方で未来への種蒔きは大変に重要であり、過度の縮小にならないように経営との意見交換をして参りました。

開発途上国のトイレ事情は、衛生や安全の上で大きな課題があります。当社の簡易式トイレ「SATO」は、この問題に正面から取り組むものです。先進国ブランドは、最富裕層や外国人向けの小さな市場から途上国に参入することが多いですが、当社はソーシャルビジネスという形で、各国の大きな需要に応える参入を行っています。

株主の皆さまのご期待に応えるべく一層の努力をして参ります。変わらぬご支援をお願い申し上げます。



## 新中期経営計画の 始動に向けた体制が 整いました

取締役 代表執行役社長 兼 CEO

瀬戸欣哉

### 2018年3月期の振り返り

昨年11月、私が当社の社長に就任してから初めての中期経営計画を発表しました。私たちは、この中期経営計画をスタートするまでの約2年間、商品の差別化の推進、グループ内シナジーの追求、事業ポートフォリオを含む事業資産の見直し、オペレーションの合理化など様々な変革に取り組み、着実に前進してきました。

経営資源の集中と事業ポートフォリオの見直しでは、2018年3月期には、海外ビル事業を営むペルマスティリーザ社の売却を決定し、海外キッチン事業については中国・ハイアール社との合併を解消、LIXILビバについてはその上場により、持分の一部売却を行いました。

また、オペレーションの合理化については、市場環境の変化やニーズの変化に素早く対応できる体制を構築するた

### 2018年3月期実績および2019年3月期業績予想 [国際会計基準]

(単位:億円)

		2017年3月期 実績*1	2018年3月期				2019年3月期	
			業績予想*2	実績	前期比	予想比	業績予想	前期比
継続事業に係る金額	売上収益	16,332	16,800	<b>16,648</b>	1.9%	△0.9%	17,100	2.7%
	事業利益	898	930	<b>753</b>	△16.1%	△19.0%	850	12.9%
非継続事業を含む金額	当期利益*3	425	430	<b>546</b>	28.4%	26.9%	500	△8.4%

※1 ペルマスティリーザ社の売却決定に伴い、同社の事業を非継続事業に分類しています。これにより前年の実績も同様に組み替えたため、前年の継続事業の売上収益・事業利益は、以前に発表した数字からペルマスティリーザ社の事業を除いた数字に変更しています。

※2 2017年8月公表

※3 親会社の所有者に帰属する当期利益

め、十分な検討を重ね、今年4月に国内で大きく組織を再編しています。新たな組織では、LIXILジャパンカンパニーを再編し、国内のウォーター・ハウジング・ビルディングの各テクノロジー部門に開発・生産・販売を集約。これら各テクノロジー部門が開発・製造から販売までを一体的かつ機動力をもって効率的に運営できる体制へと移行させています。

### 2018年3月期の業績

売上収益は16,648億円となり、前年度の子会社売却を要因とした売上減少の影響にもかかわらず、積極的なマーケティング活動を通じて、差別化された商品を

エンドユーザーの皆さまに訴求できたことなどにより、+2%の増収となりました。

とりわけ、LIXILウォーターテクノロジーおよびLIXILキッチンテクノロジーで事業拡大に向けた成長軌道に乗ったことが売上成長に大きく寄与しており、日本市場では、両テクノロジー事業が扱う全商品カテゴリーで市場の伸び率を上回る成長を達成しました。

その一方で、事業利益は原材料価格の上昇、新築着工数の減少などの影響を受けて下期に失速し、前期比-16%の753億円と、8月に公表した業績見込みを大きく下回りました。

事業利益の計画未達は、建材事業を

営むLIXILハウジングテクノロジーで、原材料価格や新築着工数といった外部環境に大きく左右される事業構造への対応の遅れが大きな要因となりました。

また、海外の水まわり事業での中東、特にサウジアラビアでの政情不安や経済不振による販売低迷、南アフリカにおける経済不振と一部工場で発生したストライキなども計画未達要因となっています。

販管費は、2017年後半においてメディアでも話題になった物流費の値上げの影響のほか、人件費の上昇、2013年から開発を進めてきた国内ITシステムの稼働開始に伴う償却費の増加、テレビコ



欧州15カ国、19の国際空港でグローエのシャワートイレ「センシア アリーナ」のキャンペーンを実施

マーシャルなどのマスマーケティングの積極的な活用を背景に増加しました。

非継続事業を含む親会社の所有者に帰属する当期利益は546億円で、2年連続で過去最高を更新することができました。これは、事業ポートフォリオの最適化を継続的に進め、より効率的で機動力のある組織の構築を進めてきた結果であり、2018年4月からの新中期経営計画の順調なスタートにつなげることができた成果を示すものと考えています。

バランスシートは、キャッシュフローの継続的改善努力、子会社・関連会社の売却により、有利子負債をさらに減少させ、2018年3月末時点の自己資本比率は前期末比2.5ポイント改善の29.3%

となりました。

配当は「連結ベースでの配当性向を30%以上とする株主還元方針」に沿って、期末配当については1株あたり5円増配の35円、年間では65円としました。増配は2015年以来3年ぶりとなります。

### 2019年3月期 業績予想

売上収益は3%増の17,100億円、事業利益は13%増の850億円を計画しています。

LIXILウォーターテクノロジーの基本戦略は、デザイン、技術、品質、ブランドの強化です。シナジーの最大化に向けて、商品ラインナップをさらに拡充し、事業を展開するすべての地域で、洗面、ト

イレ、浴室、水栓金具をはじめとする水まわり商品をトータルに提供することを目指していきます。

なお、親会社の所有者に帰属する当期利益は、前年にあった一過性の要因がなくなることから、8%減の500億円を予想しています。

1株当たりの配当金は中間・期末それぞれ35円、年間70円に増配を予定しています。

### 中期経営計画達成に向けて

中期経営計画で私が一番お伝えたいのは、持続的に高い利益を会社が作り出すためには差別化した製品・サービス・ビジネスモデルが必要だということです。これは会社の様々な場所で実験し、育てられていますが、技術力が高く、顧客の要求レベルの高い日本にこそ最も多くの差別化の種があります。

LIXILウォーターテクノロジーでは、日本で生まれた差別化された技術を海外市場に持ち込むことで、成功を広げる道筋ができました。一昨年に発売した、グローエ初のシャワートイレ「センシアアリーナ」は発売して12ヵ月で、ドイツで20%のマーケットシェアを獲得しました。これをさらに広げるため、欧州15カ

国、19の国際空港でキャンペーンを行い、「ファーストクラスの体験を皆様へ」という広告を出しています。

LIXILハウジングテクノロジーでは、外部要因に業績が大きく左右されない体質作りに取り組んでいきます。課題は明確であり、その方策は既にロードマップとして描かれ、LIXILハウジングテクノロジー丸となって様々な取り組みを開始しています。差別化された商品の開発と、プラットフォームや部品の標準化、生産設備の合理化、海外展開など、ロードマップに描かれた主要施策の一つ一つを着実に実行していくことで、事業の活性化につなげていきます。

差別化された商品の1つが、8月発売の新しい窓、TOSTEM「LW」(写真P01)です。これは上下左右のフレームが室内から見えない、大きな窓を特長としており、断熱性と耐候性も兼ね備えたハイブリッドの窓です。日本人は明るい陽光を住居に取り入れることを喜びとしてきたので、当社は日本に大きく明るい窓を増やしていきます。

組織面では、研究開発部門を集約し、昨年10月に千葉県野田市にR&Dセンターを開設しました。さらに今年4月には次世代のモノづくりを企画・推進する部門

としてNGF戦略統括部\*を設置しました。

\* Next Generation Factory=次世代工場

### デザイン、ブランドを通じた商品の差別化

当社には素晴らしい技術力と品質力があり、それをコミュニケーションする手段はデザインとブランドです。INAXブランドは、国産初のシャワートイレを開発するなど高い技術力がありながら競合に勝てなかったのは、独自のデザインやブランディング、世界市場へのアクセスが弱かったためと分析しています。世界市場へはアメリカンスタンダードとグローエの買収で、アクセスができるようになり

ブランドに実績があり、それを主導してきたのがポール・フラワーズです。彼は2015年にLIXILウォーターテクノロジーのチーフ・デザイン・オフィサーに就任し、当グループの世界的なデザイン賞受賞の増加を牽引しています(P10ご参照)。ポール・フラワーズは今年7月にグループ全体のチーフ・デザイン・オフィサーに就任します。これにより、生活者視点に立ったデザイン手法をグループ全体に取り入れることで、より魅力的で差別化された商品を提供していきます。

株主の皆さまには引き続きのご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。



住宅・ビル用サッシ、玄関ドアの新たな研究開発センター「LIXIL Housing Technology R&D Center」(千葉県野田市)2017年10月開設



## お客様の暮らしを豊かにする さまざまな製品を生み出しています

RICHELLE SI

料理を楽しむキッチン

### 「リシェルSI」誕生

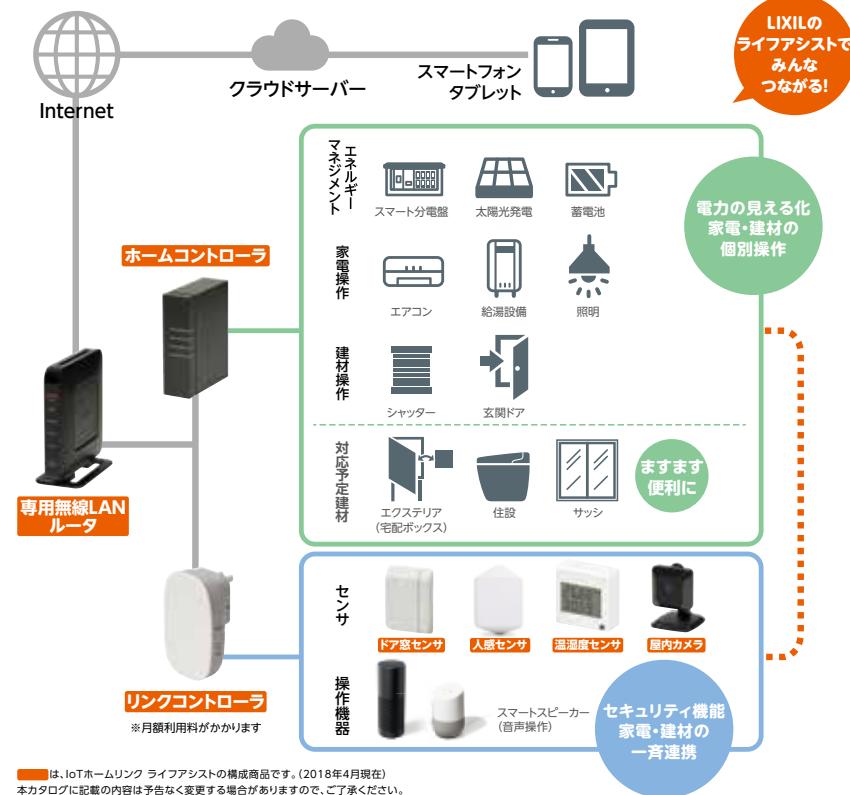
料理をする方にとっての「使う喜び」を突き詰めました。道具の出し入れや、食器洗い、お手入れなど、キッチンで行われる動作を何度も見つめなおすことで、直観的な使いやすさと、自然な使い心地を一つひとつかたちにしていきます。またインテリアとしての美しさも、喜びの一つと考えました。キッチンを暮らしの中心に据えると、料理をする時間がもっと楽しみに。システムキッチン「リシェルSI」がつくるのは、そんな毎日です。

より便利で安心な毎日を実現

## IoTホームLink 「Life Assist (ライフアシスト)」新登場

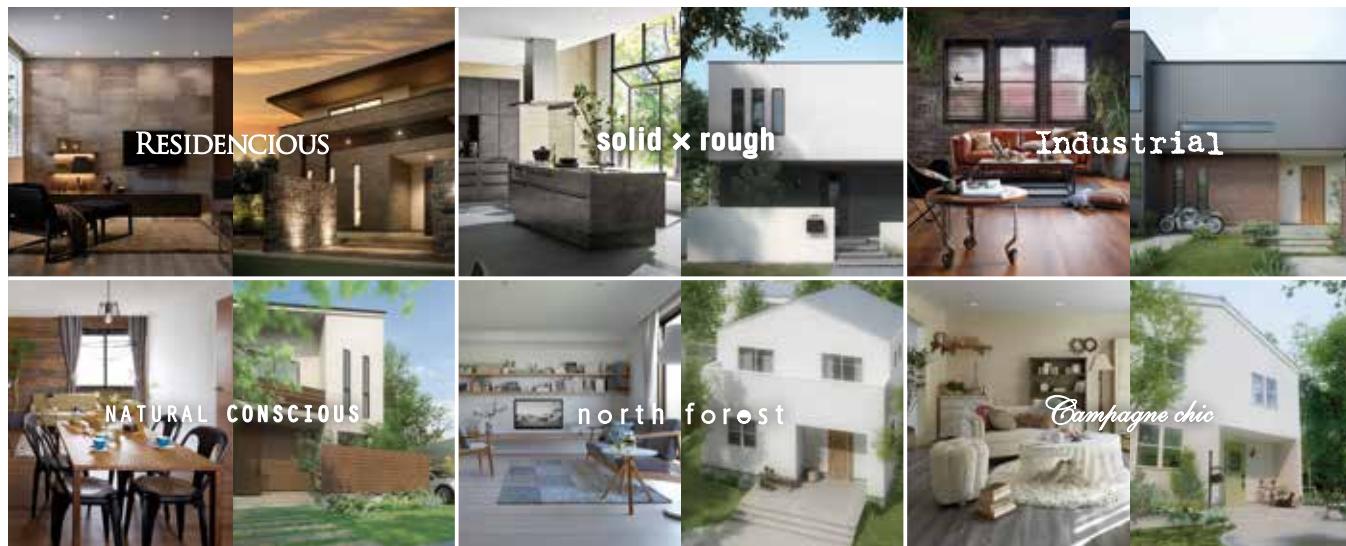
本システムは、家庭の電気機器をつなぐことで、エネルギーの使用状況の見える化や家電機器の遠隔操作を可能にする「ホームコントローラ」と、住宅に設置したセンサやカメラによって見守り・防犯を可能にする「リンクコントローラ」、そして両者をLIXIL独自の技術で一括連携させる「ルータ」によって構成されます。これにより、スマートスピーカーやスマートフォンアプリによる一括管理・コントロールが可能となり、これまでにない快適な住生活の可能性を広げます。LIXILでは今後も、IoTホームLink「Life Assist」をはじめとした様々な商品・サービスを通じて、「これからの快適な住生活」の実現を目指していきます。

IoT ホーム Link  
Life Assist



■は、IoTホームリンク ライフアシストの構成商品です。(2018年4月現在)  
本カタログに記載の内容は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

## 住まいの憧れ、かなえます



### 理想の暮らしをご提案 「Design Style」をWEB公開

「Design Style」は、お客さま好みの住まいを見つけ、想いを伝えるお手伝いをいたします。専用WEBページでは総合メーカーのLIXILならではの棟トータルコーディネートをご提案。お客さまの好みに合った6つのスタイルの中から商品アイテムを選ぶだけで、統一感のある空間コーディネートが可能になります。室内・水回りから外回りまですべてがコーディネートされ、トレンドを取り入れたスタイルを選定しています。

<http://www.lixil.co.jp/lineup/designstyle/>

# Design Style

LIXILで、  
一棟トータルコーディネート。

## 世界が認めた LIXILのデザイン

### Red Dot Design Award 2018

「エコカラット」(写真)が最優秀デザイン賞である「ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞するなどLIXIL、グローエ、アメリカンスタンダードなどの21商品が世界三大デザイン賞のひとつである「Red Dot Design Award 2018」を受賞しました。「Red Dot Design Award」はドイツのノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンターが主催する国際的に注目を集めるデザイン賞で、毎年、40名のデザイン専門家によって、革新性、機能性、人間工学、耐久性、エコロジーなど様々な基準に基づいて審査が行われています。



reddot award 2018  
best of the best



### iF DESIGN AWARD 2018

「GROHE Essence Professional」(写真)「GROHE Sense Guard」の2商品が最高位である金賞に選ばれるなど、LIXIL、グローエ、JAXSONの8商品とグローエの1映像作品が世界三大デザイン賞のひとつである「iF DESIGN AWARD 2018」を受賞しました。「iF DESIGN AWARD」は、ドイツのインダストリー・フォーラム・デザイン・ハノーファー (iF) が主催する国際的に権威のあるデザイン賞で、iFのロゴは優れたデザインの証として広く認知されています。



© WaterAid / Kate Holt

## 「グローバルな衛生課題の解決」 「水の保全と環境保護」に貢献します

SATOは世界各地で累計

**120**万台以上出荷

### 世界の衛生環境を改善しよう！ 「みんなにトイレをプロジェクト」をスタート

世界にはまだトイレが設置されていない学校が多数あります。特に女兒は、この影響を大きく受け、学校にトイレがないことで欠席や退学を余儀なくされ、教育の機会を奪われてしまう現状があります。また、衛生環境が整っていないことも一因となり教師が着任を希望せず、教師不在による教育格差や、学校の敷地内の屋外排泄による集団感染を引き起こす原因となっています。LIXILは、一体型シャワートイレ1台の購入につき、簡易式トイレ「SATO」1台をアジア、アフリカの学校を中心に寄付することで衛生環境の改善につなげる「みんなにトイレをプロジェクト」を2018年4月から9月まで実施します。

### 世界の衛生環境を改善しよう！ みんなにトイレをプロジェクト

日本で一体型シャワートイレを1台購入



アジアやアフリカの学校を中心に「SATO」を1台寄付

## 未来の子どもたちが暮らす環境を守ろう みんなでスマイルエコプロジェクト

地球にも人にも優しいエコを推進したい。

暮らしに関わる様々な製品をつくるLIXILだから、現在も未来も、誰もが笑顔で暮らすために、「水の保全と環境保護」に取り組んでいます。この先の未来も美しい地球の自然の恵を享受するために、私たち一人ひとりが、いまできることを。



快適な暮らし



ランニングコスト削減



CO<sub>2</sub>排出量削減

### Project 01 マイボトル推進活動

第1弾となる「マイボトル推進活動」は、自宅の浄水栓の水をマイボトルに入れて、会社や学校などへ持参することを推奨する活動で、ペットボトル生産時に排出されるCO<sub>2</sub>の削減に貢献するとともに、エコへの意識啓発に取り組んでいます。



### Project 02 THINK HEAT ～考えよう ヒトと地球にやさしい温度～

第2弾の取り組みとなる「THINK HEAT ～考えようヒトと地球にやさしい温度～」では、「室内温度」に着目し、「省エネ」かつ「健康・快適」な暮らしを実現するために住まいでできることを、学びや体感を通じてお客さまとともに考え取り組んでいきます。



## 営業報告

### 主な経営指数の推移〈連結、国際会計基準〉

	当期 自2017年4月 1日 至2018年3月31日	前期 自2016年4月 1日 至2017年3月31日	前期比 比率(%) / 差額
継続事業に係る売上収益(億円)	16,648	16,332	1.9
継続事業に係る事業利益*(億円)	753	898	△16.1
継続事業に係る営業利益(億円)	809	693	16.9
親会社の所有者に帰属する当期利益(億円)	546	425	28.4
資本合計(億円)	6,496	5,594	16.1
資産合計(億円)	21,071	20,422	3.2
営業活動によるキャッシュ・フロー(億円)	1,164	1,325	
投資活動によるキャッシュ・フロー(億円)	△526	△581	
財務活動によるキャッシュ・フロー(億円)	△438	△799	
現金及び現金同等物の期末残高(億円)	1,388	1,216	14.1
親会社所有者帰属持分比率(%)	29.3	26.8	2.5
親会社所有者帰属持分当期利益率[ROE](%)	9.4	7.9	1.5
基本的1株当たり当期利益[EPS](円)	189.13	148.01	41.12
1株当たり親会社所有者帰属持分[BPS](円)	2,128.77	1,902.18	226.59
1株当たり年間配当金(円)	65	60	5

\*日本会計基準における「営業利益」と同等、事業利益=売上収益-売上原価-販管費



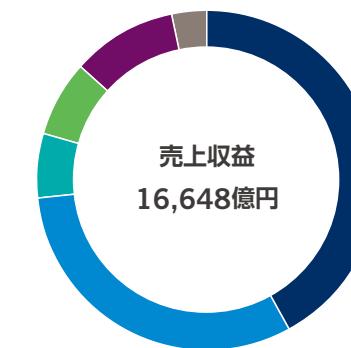
当社は2017年8月にベルマステリーザ社の売却を決定したため、同社および同子会社の事業を非継続事業に分類し、2017年3月期の売上収益、事業利益、営業利益、P14のビルディングテクノロジー事業を組み替えて表示しています。

## セグメント情報

### セグメント別の営業状況

	当期 (億円)	前期 (億円)	前期比 (%)
<b>売上収益</b>	<b>16,648</b>	16,332	1.9
ウォーターテクノロジー事業	7,159	6,624	8.1
ハウジングテクノロジー事業	5,352	5,441	△1.6
ビルディングテクノロジー事業	1,070	1,104	△3.1
キッチンテクノロジー事業	1,200	1,147	4.5
流通・小売り事業	1,735	1,720	0.9
住宅・サービス事業等	523	644	△18.8
(調整額)	△390	△348	—
<b>事業利益</b>	<b>753</b>	898	△16.1
ウォーターテクノロジー事業	677	651	4.0
ハウジングテクノロジー事業	275	392	△29.8
ビルディングテクノロジー事業	34	54	△37.0
キッチンテクノロジー事業	62	43	42.7
流通・小売り事業	69	73	△5.0
住宅・サービス事業等	25	44	△42.6
(調整額・のれん償却・取得原価)	△389	△360	—

### 売上収益内訳(当期)



ウォーターテクノロジー事業	42.0%
ハウジングテクノロジー事業	31.4%
ビルディングテクノロジー事業	6.3%
キッチンテクノロジー事業	7.0%
流通・小売り事業	10.2%
住宅・サービス事業等	3.1%

セグメント別の詳細は6月上旬にお送りした「第76回定時株主総会招集ご通知」の「事業報告」をご参照ください。

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
株主確定日	定時株主総会議決権行使株主・期末配当金受領株主 3月31日、 中間配当金受領株主 9月30日 上記のほか必要ある場合は予め公告して基準日を設定。
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL <a href="http://www.lixil.com/jp/investor/electronic_public/">http://www.lixil.com/jp/investor/electronic_public/</a>
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
1単元の株式の数	100株
上場取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所

### お知らせ

- 株主さまの住所変更、買取請求、買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行、電話0120-232-711(通話料無料))にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の株主さまと同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主さま宛にも「配当金計算書」を送付いたしております。「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。なお、配当金を証券口座でお受け取り(株式数比例配分方式)の株主さまは、お取引のある証券会社でご確認ください。

### お問い合わせ先

#### 株式についてのお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行：証券代行部 0120-232-711(上記「株主メモ」ご参照)  
LIXILグループ：03-3638-9300

#### 本誌の内容についてのお問い合わせ

LIXILグループ：IR室 03-6268-8806

#### 株式会社LIXILの商品に関するお問い合わせ

お客さま相談センターのフリーダイヤルで承ります。商品により電話番号が異なりますのでご注意ください。  
受付時間 平日 9:00~18:00、土日祝日 9:00~17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

- サッシ、ドア、エクステリア ☎0120-126-001
- トイレ、化粧台、浴室商品、タイル商品 ☎0120-179-400
- キッチン商品 ☎0120-190-521

## アンケートにご協力ください

株主通信を手にとっていただきありがとうございます。株主の皆さまのご意見を今後の活動の参考とさせていただきます。同封のハガキに必要事項と、下記およびハガキに記載の設問に対する回答をご記入の上、2018年7月23日(月)までにご投函ください(当日消印有効)。ご回答くださった方には、LIXILの2019年版カレンダー(卓上建築カレンダーまたはタイルカレンダー、どちらかひとつ)を進呈いたします。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

アンケートご回答の方に  
カレンダーをプレゼント!



※カレンダーの写真は  
2019年版です。



左：タイルカレンダー(壁掛けタイプ、紙製) 約39.5×39.5(cm)  
右：卓上建築カレンダー(両面タイプ、紙製) 約15×18(cm)

### Q1 当社株式を取得されたきっかけをお聞かせください。(2つ)

- 会社四季報
- 新聞・投資情報誌等
- 証券会社の推奨・分析ツール
- 個人投資家説明会
- 当社CM・広告
- 当社ホームページ
- 当社ホームページを除くインターネット情報
- 株主優待制度・株主優待情報誌
- 知人・友人・家族の紹介
- 当社製品を利用
- 当社のファン
- 当社従業員(元従業員)
- 当社お取引先(元取引先)さま
- 相続・贈与
- その他 [内容を回答欄にご記入ください]

### Q2 当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください。(1つ)

また、買い増しのご意向がある株主さまは、数字の記入に加え、ハガキ回答欄右にある「買い増し意向」にも☑をご記入ください。

- 1年未満
- 短期(1年~3年未満)
- 中期(3年~5年未満)
- 長期(5年以上)
- 売却しない
- 売却済み(一部売却を含む)

### Q3 今回の株主通信の全体の印象(サイズ、ページ数など)についてお聞かせください。

- 良い
- どちらかといえば良い
- どちらかといえば悪い
- 悪い

### Q4 当社へのご意見・ご感想などがございましたらご自由にご記入ください。

### → 応募方法

同封の「株主さまアンケート回答用ハガキ」の両面に回答をご記入の上、「個人情報保護シール」を所定の位置に貼付してご投函ください。カレンダーの発送は12月中旬を予定しております。

必要事項をご記入の上、7月23日(月)までにご投函ください(当日消印有効)。

※集計の都合上、個別のお返事はできかねますので、ご了承ください。個別のご対応が必要な事項については、P15「お問い合わせ先」までご連絡ください。

## 株式の状況(2018年3月31日現在)

### 株式数および株主数

発行可能株式総数	1,300,000,000 株
発行済株式の総数(自己株式23,263,729株を除く)	289,790,526 株
株主の総数	44,369 名

### 大株主

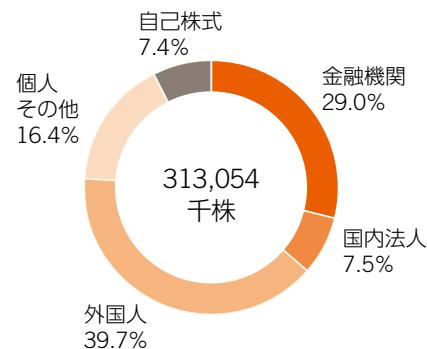
株主名	持株数(千株)	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	13,315*	4.59%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	13,129*	4.53%
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04 (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	9,683	3.34%
野村信託銀行(株)(信託口)	8,896*	3.07%
JPMC OPPENHEIMER JASDEC LENDING ACCOUNT (常任代理人(株)三菱東京UFJ銀行)	7,853	2.71%
第一生命保険(株) (常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	6,561	2.26%
LIXIL従業員持株会	6,422	2.22%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5) (株)三井住友銀行	5,571*	1.92%
STATE STREET BANK WEST CLIENT- TREATY 505234 (常任代理人(株)みずほ銀行決済営業部)	5,543	1.91%

- (注) 1. 上記の他に当社は自己株式23,263千株を所有しています。持株比率は、自己株式を控除して計算しています。  
 2. ※はすべて信託業務に係るものです。  
 3. 野村信託銀行(株)信託口8,896千株は潮田洋一郎氏が委託した信託財産であり、信託契約上、議決権の行使については同氏が指図権を留保しています。  
 4. (株)三菱東京UFJ銀行は、2018年4月1日付で(株)三菱UFJ銀行に商号変更しています。

### 免責事項

この株主通信には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績はさまざまな重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

### 所有者別分布状況



金融機関	90,698千株
国内法人	23,513千株
外国人	124,244千株
個人その他	51,334千株
自己株式	23,263千株
合計	313,054千株

## 会社概要

### 会社概要

(2018年3月31日現在)

社名	株式会社 LIXILグループ
英文社名	LIXIL Group Corporation
設立年月日	1949年(昭和24年)9月19日
本店	〒136-8535 東京都江東区大島二丁目1番1号
本社事業所	〒100-6036 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング36階
資本金	68,121百万円
決算期	3月31日
従業員数	50名(連結従業員数 61,140名)
主な事業内容	国内外の住生活関連事業・都市環境関連事業を営む会社の株式または持分を取得、所有することによる当該会社の事業活動の支配、管理を行っております。

### 執行役

(2018年6月21日現在)

代表執行役社長兼CEO	瀬戸 欣哉
代表執行役副社長	松本 佐千夫
執行役副社長	大坪 一彦
執行役専務	ファ・ジン・ソン・モンテサーノ
執行役専務	松村 はるみ
執行役専務	二瓶 亮
執行役専務	金澤 祐悟
執行役専務	中村 豊
執行役	潮田 洋一郎

### 委員会構成

(2018年6月21日現在)

<指名委員会>	委員長	山梨 広一
	委員	潮田 洋一郎
	委員	吉村 博人
	委員	幸田 真音
<監査委員会>	委員長	川口 勉
	委員	吉村 博人
	委員	白井 春雄
	委員	パーバラ・ジャッジ
<報酬委員会>	委員長	パーバラ・ジャッジ
	委員	幸田 真音
	委員	山梨 広一
	委員	菊地 義信
社外取締役	社外取締役	山梨 広一
	社外取締役	吉村 博人

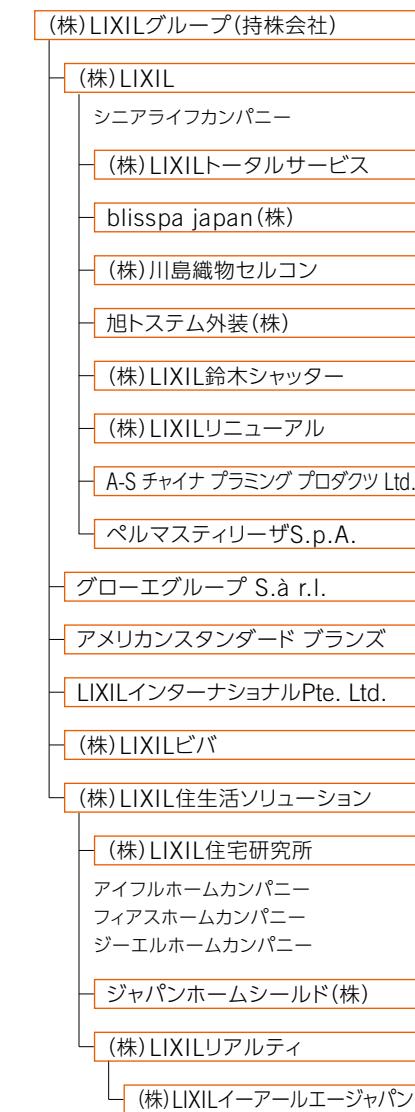
### 取締役

(2018年6月21日現在)

取締役	潮田 洋一郎
取締役	瀬戸 欣哉
取締役	金森 良純
取締役	菊地 義信
取締役	伊奈 啓一郎
取締役	白井 春雄
取締役	川本 隆一
社外取締役	川口 勉
社外取締役	幸田 真音
社外取締役	パーバラ・ジャッジ
社外取締役	山梨 広一
社外取締役	吉村 博人

### 主なグループ会社

(2018年3月31日現在)



# 株主優待のお知らせ

株主の皆さまのご支援、ご愛顧に感謝するとともに、より多くの株主の皆さまに事業に対するご理解を一層深めていただくことを目的として、株主優待を実施しています。

2017年9月30日現在の当社の株主名簿に記載または記録されている100株(1単元)以上を保有されている株主さまへ、昨年11月末に「株主優待制度ご利用ガイド2017-18」と「リフォーム株主優待申込書」をお送りしました。(今回は同封しておりません。)皆さまの株主優待のご利用をお待ちしています。

※「リフォーム株主優待申込書」「ご利用ガイド」の再発行はいたしておりません。ご了承ください。

詳細は昨年11月にお送りした「株主優待制度ご利用ガイド2017-18」をご覧ください。



リフォーム株主優待申込書 (A3サイズ 裏面は封筒面となっています。)



## ▶ リフォーム株主優待

株主優待対象商品を使って工事が完了し、10月末までに請求書が発行されたリフォーム工事が対象です。

**10月31日(当日消印有効)までに必要書類とともに「リフォーム株主優待申込書」を投函してください。**

工事金額に応じて3万円・5万円・10万円のいずれかの金額の商品券(JCBギフトカード)を、お申し込みの約2ヵ月後にお送りします。

## ▶ 生活サービス株主優待

LIXILオンラインショップで販売しているサービスパックを、ご利用価格に応じて税込価格から5,000円または3,000円の割引でご購入いただけます。**10月31日までに「LIXILオンラインショップ」にお電話して、「株主優待ご利用」とお伝えの上、ご購入ください。**割引券は「株主優待ご利用ガイド2017-18」の巻末にあります。

サービスパックは、到着後、6ヵ月以内にご使用ください。

### サービスパックメニュー

- ハウスクリーニング(レンジフード・キッチン・浴室・エアコン)ご希望のお掃除箇所をお選びいただけます。
- 衣類またはふとんクリーニング 最長9ヵ月保管付き

## 株式会社 LIXILグループ

本店 : 東京都江東区大島二丁目1番1号  
本社事業所 : 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング36階  
ホームページ : <http://www.lixil.com/jp/>